

令和7年度ひろしま感性イノベーション協議会運営業務公募型プロポーザル 議事要旨

ひろしま感性イノベーション推進協議会企画運営委員会

令和7年度ひろしま感性イノベーション推進協議会運営業務公募型プロポーザルについて、次のとおり審査した。

1 会議の概要

開催日時	令和7年4月21日（月） 15：00～17：00
開催場所	WEB（ZOOM）
開催方法	WEB（ZOOM）
出席委員名	A委員、B委員、C委員、D委員、E委員、F委員
応募事業者	公益財団法人中国地域創造研究センター
議題	令和7年度ひろしま感性イノベーション推進協議会運営業務公募型プロポーザルの審査
担当部署	広島県商工労働局 自動車・新産業課

2 議事要旨

○ 審査基準及び結果等

本協議会は感性工学を活用したものづくりを活性化することにより、高付加価値な製品の創出の促進に取り組んでおり、別表の審査基準に基づいて審査を行った。

その審査結果は次表のとおりであり、最優秀提案者として公益財団法人中国地域創造研究センターを選定した。

審 査 基 準	評価の視点	配点	応募者	評価
			最優秀提案者	
提案内容				
実施方針	○目指す姿は適切か。 ○現状や課題などをふまえ、明確かつ効果的な課題解決方針が記載されているか。	96	72	
普及啓発・人材育成	○営業活動は、新規会員企業の増加が見込める内容になっているか。 ○ワークショップは、企業が感性工学等を活用したものづくりに自社で取り組むために、必要な知識を習得し、実践する意欲を高められる提案となっているか。	120	90	・新規会員獲得に向けて、改革案の提案がある。 ・昨年度と同様の活動方針にとどまっており、これまでと異なる企業を多数勧誘できるかは疑問が残る。 ・手引書が肝であるので、企業が分かりやすく、効果的なものに仕上げていただきたい。 ・営業活動というより、増加が見込める内容になっているかという、疑問が残る。参加する側が何がここで具体的にできるのかわからないと参加する意義がわからないと思うので、そこがわかるようなPR方法がより具体的にできあがっていくことを期待する。 ・一方で、是非とも支援を依頼したいと思わせる魅力的な提案が少し乏しい。 ・前年取組を検証し効果を高める工夫を講じている。
企業内展開支援	○十数件の事業化・着手が実現できる計画や体制となっているか。 ○プロジェクトチームの支援により、3件の成功事例創出が期待できる内容になっているか。	120	95	・提案内容（取組）が具体的である。
地域連携	○関係機関が連携して、一貫した企業支援が実施できる内容になっているか。	96	76	
実施体制	○円滑に業務が遂行できる体制となっているか。 ○業務従事者は十分なスキルを有しているか。 ○類似業務の実績を有しているか。	72	54	・業務実績を有している。 ・感性工学にかかる十分な実績を有している。
実績・強み	○感性工学に関連する独自のネットワークを有しているか。その他、提案者独自の優位性・特長があるか。	48	36	・業務実績を有している。 ・感性工学にかかる実績を有しており、独自性の高い提案がされている業務実績を有している。
実施スケジュール	○実施スケジュールは計画的で実現可能なものか。	48	30	・具体的なスケジュールが明記されており実現可能性が高い。

合 計 点 数	600	453	・これまでの業務実績から円滑な事業運営が期待できる。 ・これまでの実績があり、ノウハウも蓄積されているので、継続して事業推進することが望ましい。 ・感性工学に関する取組に関する豊富な実績があり、具体的な提案により実現性の高い提案がされている。 ・自立化に向けて、カフェ企画案、補助金獲得、SNS の活用、各団体との連携など、具体的で実現性の高い提案内容が多くあり、委託先に相応しいと考える。 ・安定した運営が期待できる。また、一丸となって、国の資金を獲得することが望ましい。 ・全体的にプロジェクトの中で、改善・進化されていくということで今後の進行に期待する。
---------	-----	-----	--

※本結果は、6名の委員の合計点によるものである。